



(つゞき) 故文M・C・ハリス氏の墓前禱り、花
環を供し、自分は詩篇第九十、九十一篇を
英語にて朗読し、續いて伊藤君が熱心溢
るの祈禱を捧げた、「原は我等今、此所に
會するが如くに、墓の彼方に於て、一人も漏れなく
會することを得しめ給え」と君の祈りし時に、我等
一同強割せるアーメンを以て應ぜざるを得なかつた。
實に永久忘る、能わざる 聖き會合であつた。

(先生の日記より)